



第78回 全日本アマチュアボクシング選手権大会開催 (11月12日~16日)
ウェルター級決勝戦の石山俊朗選手 (新潟県代表)

主な内容

- 第78回 全日本アマチュアボクシング選手権大会開催……………②③
- 第41回市展 市展賞受賞作品紹介……………④⑥
- 加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会……………⑦
- 秋の叙勲……………⑧⑨
- 第5回 加茂菊花展開催……………⑨
- 税に関する作文・標語……………⑩
- 加茂の風土記……………⑫

第78回 全日本アマチュアボクシング選手権大会



ウェルター級 石山俊朗選手（写真：右）優勝の瞬間

第78回全日本アマチュアボクシング選手権大会が11月12日から16日までの5日間、勤労者体育センターで開催されました。これは来年の「トキめき新潟国体」ボクシング競技リハーサル大会として実施されましたが、大会自体は今年の国内でのアマチュアボクシング各階級の最高位を決める由緒ある大会です。



ウェルター級 石山選手と小原選手の決勝戦

大会には、全国各ブロックの代表と日本アマチュアボクシング連盟からの推薦選手併せて92名が出場し、熱戦が繰り広げられました。観覧席には400席用意したいすも連日満席になり、500人を超える人たちから応援に来ていただきました。大会役員の方たちは「こんなに大勢の皆さんから応援していただけると、選手もがんばれるのでとてもいい大会になります」と話されていました。

出場ブロックの中で、新潟県代表として出場した加茂市出身のフライ級高橋竜平選手（東洋大学）が13日の1回戦第3試合に登場しました。結果は惜しくもポ

イント負けとなりました。しかし、同じく新潟県代表ウェルター級の石山俊朗選手（新潟総合警備保障）は悲願の初優勝に輝きました。

大会の運営には、開会式にトッキキダンスを披露してくれた新潟中央短期大学と市立保育園年長児の皆さん、式典では市内中学校の皆さん、競技運営には新潟南高校・高田農業高校・新潟北高校・高志高校・新潟向陽高校・巻総合高校の生徒さんから協力していただきました。

NHKの優勝インタビューを受ける石山選手





加茂市出身・フライ級 高橋竜平選手の1回戦



12日の開会式の様子



開会式でトッキッキダンスを踊る保育園児



選手紹介などの場内放送は高校生が担当



時計・ゴングを担当する高校生たち

また、延べ200人を超える市民ボランティアの皆さんからは、会場美化・場内整理・来場者案内・休憩サービスコーナーで全国から来られた選手や応援に駆けつけた人たちに温かいおもてなしをしていただいて、たいへん好評でした。

来年「トキめき新潟国体」は9月26日に開会し、加茂市で開催されるボクシング競技は10月1日から6日までの予定です。競技は、少年（高校生）の部と成年（大学生・社会人）の部があり、会場の勤労者体育センターにボクシングリングが2つ設置されて試合が行われる予定です。そのときも大勢の市民の皆さんから、応援やボランティアの協力をいただけますようお願いいたします。



市民ボランティアのおもてなしは選手にも好評



全国から来る皆さんに加茂のおみやげを紹介

第41回 市展

市展賞受賞作品紙上紹介

日本画



「水無月の頃」
板垣悦子さん

洋画



「想い逢」
永井一九子さん

彫刻



「Wさん」
本間 正さん

工芸



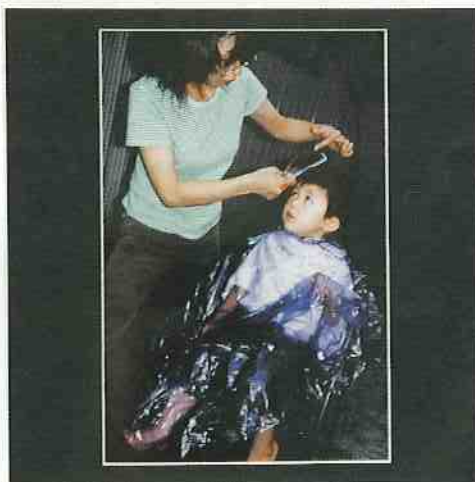
「風想」
小池ゆう子さん

書道



「高啓詩」
永井一九子さん

写真



「短くしないで」
明田川洋さん

第四十一回市展の各部門で市展賞を受賞された皆さんから、受賞された感想や作品についてのコメントをいただきましたのでご紹介します。

日本画

「水無月の頃」

板垣悦子さん(新潟市秋葉区)

花を描くということ、一年を通して、その花に巡り逢えるのは、僅かな期間です。しかも晴天であつたり、雨降りだったり、その瞬間はこの刻しかないのです。梅雨時の水々しい紫陽花を目に焼き付け、筆を執りました。

しつとりと雨に濡れそぼり、いっそう色鮮やかに、しかもちよつと控え目な紫陽花の美しさを表現するのはなかなか難しく、寒色ばかりの寂しい絵になってしまいました。この花の美しさを損なわず、暖か味のある作品にするには、どのようなしたらよいのかと、試行錯誤でした。ところが先生の御指導で、パツと明るく、絵に陽射しが差し込んできたのです。

これからも一期一会の気持ちで、花との出会いを大切に、楽しく描いていきたいと思っております。

洋画

「想い遙」

永井一九子さん(神明町二)

昨年に続いている市展賞、感激で胸がいっぱいで夢のようです。

私は、月二回、第二、第四土曜日の午前中、公民館の創作室での創作活動です。師は小林綾子先生で、実に優しく丁寧に教えていただいておりますし、私達の洋画教室のメンバーとも和気あいあい、楽しく描いております。私が油絵を始めるきっかけは、五年前、公民館初心者油絵教室が開設された時に、誘いを受けて参加したのが最初でした。挫折もせず続けてこれて良かったと思います。

このたびの絵は、一昨年、友達とカンボジアに旅した時に目にした、アンコールワットの壁画を懐かしく思い出しながら描きました。その絵が市展賞に選ばれ、本当に嬉しいです。これからも生涯の趣味として続けていきたいと思っております。

彫刻

「Wさん」

本間 正さん(学校町)

六年前、公民館活動のひとつである彫刻講座より始めたのが初めてで、会の名前を月遊会と言いつつ、彫刻を作ってみたと思う人達が月曜日の夜集まった事からこの名前が付けられ、指導される高橋国一先生の下、制作しています。この作品のモデルさんは田上町の若い女の方で、仕事の後、疲れているにもかかわらず来ていただき感謝しています。

まず、モデルを囲んでスケッチしたり、粘土を捏ねたりして作品にするのですが、同じモデルさんなのに皆さん違う作品になるので、その中から今回、市展に出品したら、係の方より賞に入りましたと連絡いただきびっくりしました。これも関係された皆様のおかげと考えることができ思っております。



- 日本画 「農道」 番場仁 (横江)
- 洋画 「闘牛 (待機) 図」 桑原茂 (幸町一)
- 彫刻 「待ちわびて」 中澤恵子 (八幡二)
- 工芸 「粟の清流」 塩野明美 (第24区)
- 書道 「秋ふけぬ…」 稲垣映華 (田上町)
- 写真 「小春日和」 宮田要三 (幸町一)

新潟日報美術振興賞

工芸 「風想」

小池ゆう子さん(八幡二)

今年も「この時期がやってきた」と作品構想を考えはじめたのは夏。黒みかげを使い、白黒のコントラストを出したい。イメージは：「風」がスタートでした。

一カ月かけて積み上げ、乾燥。作図。マスキング。マスキングは、初めての挑戦でした。そして、不安と期待が入り混じった中での窓出しをしたのは、十月でした。

今回「市展賞」という栄えある賞をいただくことができましたのは、私を指導してくださった坂上先生。そして、一緒に陶芸に励んだ仲間。また、毎年開催されております市展のすばらしい作品との出会いが大きな原動力となっております。

これからも、人や物とのかかわりあいを大切に、感謝の気持ちを胸に、作品づくりをしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

書道 「高啓詩」

永井一九子さん(神明町二)

このたびは、栄誉ある市展賞をいただき誠にありがとうございます。

今だに信じられないくらい、とまどいを感じております。私は五十の手習いで書道を始めた、未熟な私を、一生懸命指導してくださいました。師・阿部翠香先生、楽しく一緒に学ぶ書友の皆様のお陰と深く感謝しております。今、かな字に夢中の私が、久々に糸幅に挑戦し、新鮮な気持ちで力まずに書けた事が良かったのでしょうか？

これからも市展賞を励みに、頑張つて続けていこうと心に決めたところです。初孫も誕生し、市展賞にも選ばれ、二〇〇八年は、私にとって生涯忘れない年になりました。明日から、また、一步、地道に精進していきたいと思っております。

写真 「短くしないで」

明田川 洋さん(新町二)

加茂市最後のカメラ初心者教室に入り、最初の頃はフィルムの入れ方も、シャッターの押す所も分らずでしたが、それから十年、外石先生の素直な写真と、やさしい指導はもとより、写楽の皆様方からの協力を得て、市展賞をいただくことができました。

ありがとうございます。この作品は床屋に行きたがらない子を、母親がなだめながら散髪している所を撮りました。とても嬉しく思います。

そしてこれが孫への贈り物になりました。



奨励賞・振興賞の皆さん

奨励賞：日本画 「烈」谷地田貞(後須田第四)、「心音」下田路子(幸町1) 洋画 「こもれび」田浦明(桜沢)、「収穫」高木節郎(青海町2) 彫刻 「KEN」太田征吾(新栄町)

工芸 「レイエム」鈴木イツ乃(田上町)、「秋のコンポジション」金子良子(矢立)、「転生」小川千恵(幸町2) 書道 「椰子の実」河内敦子(新町2)、「黄遵憲詩」馬場範子(番田)、「漢詩」菊田亜津子(仲町)、「蘇軾詩」井上春瑤(幸町2)、「臨 香紙切」小林俊江(三条市) 写真 「彩りの滝」三浦二郎(五番町)、「大晦日の夜」棒文一(第25区)、「夏の日」外石智慧子(前須田)、「夏のひととき」渡辺恵子(下鶴森)

振興賞：工芸 「彩」五十嵐舞(加茂農林高) 書道 「臨書 牛糞造像記」半間麻央(三条高)、「漢詩」小池柚衣(新津高)、「臨 木簡」西潟春香(加茂暁星高)

第27回市民カラオケ大会

加茂川ブルース・ 加茂川慕情全国大会



閉会式での山岸之起審査員長講評



市民カラオケ大会優勝の土佐弘吉さん



加茂川ブルース部門優勝の小倉喜男七さん

十月十三日、加茂文化会館で市民カラオケ大会がありました。二十七回目の今回、加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会も三回目となり、一般の部で三十九名、加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会で各十名の方が出場し、自慢の歌と声を披露しました。

大会では、「新潟ブルース」「加茂川ブルース」「加茂川慕情」の作曲者で、勤労青少年ホーム教養講座「カラオケ講座」の講師をしていただいている山岸之起先生から審査員長をしていただきました。講評では、歌と声のほかにも、立つポーズや手の振りも大切だということです。

結果は下記のとおりです。

第27回 市民カラオケ大会 入賞者

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 優勝：「献身」土佐弘吉さん(田上町) | 市長特別賞：「無情の酒」坂内ミチ子さん(田上町) |
| 準優勝：「千の風になって」梅津 明さん(仲町) | 審査員長特別賞：「別れの街」小柳 隆さん(皆川) |
| 敢闘賞：「龍王岬」樋口和男さん(八幡2) | 館長特別賞：「羅生門」角田行子さん(田上町) |

加茂川ブルース・加茂川慕情 全国大会 入賞者

「加茂川ブルース」部門

- 優勝：小倉喜男七さん(大郷町1)
準優勝：佐藤哲男さん(三条市)
敢闘賞：多胡治義さん(群馬県高崎市)

「加茂川慕情」部門

- 優勝：前山由紀子さん(新潟市西蒲区)
準優勝：佐藤暁子さん(三条市)
敢闘賞：土肥サヨ子さん(三条市)

秋の叙勲

公共のために尽くしたとして、秋の叙勲において加茂市から三名の方が受章されました。その足跡や喜びの声をうかがいました。

瑞宝小綬章

(更生保護・教育研究功労)



大森康正さん
(五番町・75歳)

「好きなことをやってきて叙勲だなんて。文句一つ言わずに一緒にやってきてくれた家内に感謝」と受章の弁です。

大森さんは、東京で生まれ小学校二年のとき加茂に移り住みました。小さいときから土(べと)と虫が大好きで、虫取りに夢中になり、花の前で待つてハチの標本を

いくつも作りました。そんな縁から旧黒川村の医師で昆虫学者の馬場金太郎先生の勧めもあり、新潟大学理学部の生物学を専攻、医学部医動物教室に入り、医学部助手、講師を経て秋田大学医学部寄生虫学教室助教授に就任しました。

しかし五年後、父親の他界に伴ない寺を継ぐため加茂市に戻り、昭和五十五年から父親も務めた保護司を現在まで三十年近く務めています。「加茂は穏やかなまちで、根っからの悪はいない。本人が悪かったと一番承知しており、接してきた人たちの中で困った例はほとんどない」と言います。また、昭和五十六年からは新潟中央短期大学幼児教育科の教授をあわせて務め、定年でいったん退

職も幼児教育科の定員増で昨年復職しました。幼児教育に欠かせない「体育遊び、言葉遊びなどに手作りおもちゃが役に立った」と、長年かかわった医動物の世界で自然に身についた手作り作業との接点を語ります。今でも少年時代の友人が集まると「必ず虫取りやハチ集めに走り回った昆虫少年時代の話になる」ということです。

旭日双光章

(保健衛生功労)



小池昭彦さん
(上町・80歳)

埼玉県で生まれ育った小池さんは、新潟医科大学医学専門部を卒業後、新潟市などの病院に勤務、三十歳のとき奥さんの地元である加茂市上町に開業しました。「父親が一年早く小学校へ入学させ、当時の旧制中学へ進学とい

う段になって資格がないことが分かって六年生を二回やるはめになったり、士官学校を視力検査で不合格になり医科大学へ進路変更して新潟へ来たのも、加茂で開業できたのも偶然」と、半世紀以上に及ぶ医師人生を振り返ります。

「二度の曲折から偶然に任せた人生を歩んできたが、和を以て貴しと為すの気持ち忘れず、和は輪でもあり、人間関係の人の和が開いてくれた道で、長い間、医師を続けてこられたことにただ感謝しています」。患者の言うことに耳を傾け、患者の身になって考え、忙しくても往診をいとわず、決して居留守は使わず、居れば診て一日二百人以上診たこともあったと言います。「自分にはちゃんぽらんでいいけれど、人は大事にする。下手な功名心はもたない。いい出会い、いい仲間に恵まれてきたことは大きな財産。しかし何で私が受章という思い」ということです。

新潟県医師会理事を二十年務め、特に新潟県社会保険診療報酬支払基金審査委員長、日本医師会代議員、同常任理事として多忙な日々を送りました。

現在、週三日は長男の医院で診察し、「週休四日、年で大技も小技も落ちてきたがゴルフが楽しみ」と苦笑いします。

瑞宝双光章 (消防功労)



山崎久男さん
(青海町一・66歳)

危険業務従事者叙勲受章にあたって「本当にありがたく皆さんのお陰で、皆さん方から支えていただいた賜物」と、周囲に感謝の言葉です。

山崎さんは、消防団に五年在籍後、昭和三十九年三月に消防士を拝命して以来、昭和十四年に消防監・消防長として定年退職するまで三十八年余にわたり勤務しました。昭和三十年代には、台風、豪雪、新潟地震、四十年代の連年水害など幾多の自然災害に見舞われ、消防本部・署発足直後の創成期にあつて消防団、職員一丸となつて

現場で対応しました。当時は火災が年間三十件前後も発生しました。多くの火災現場を経験し、また現場指揮者としても卓越した実績を残しています。

「何といつても加茂川・下条川の改修によつて水害の心配がほとんどなくなつたことが市民生活の安心、安全には一番」と、消防団を含め四十三年に及ぶ消防人生を振り返ります。

平成元年にスタートした田上町との消防広域化の職務遂行にあつた後、平成七年に消防長に就任してからは消防力の強化と組織力の充実を図り、はしご車の更新、緊急指令施設の整備、高規格救急車の導入など、時代の進展に即応し近代的な消防体制を実現した功績は高く評価されます。

退職後は、加茂福祉会理事、評議員などを務め、趣味は「庭木をいじる程度」と苦笑しました。

第5回加茂菊花展

今回、出品された二百七品は、愛好家の皆さんが丹精こめて育てられ、期間中、大勢の来場者を楽しませてくれました。出品者のお話では開花している時点で、来年のことを考えているとのことでした。

今回、昨年部門外で出品され好評だった「木付け」の部門を新たに設け、次の方の作品が入賞されました。(敬称略)

【管物三幹】優秀賞 牛田豊作(田上町)・第一位 小杉喜八郎(三条市)・第二位 石倉広茂(新潟市)・第三位 牛田豊作、桜井美千代(新潟市) 【厚物三幹】優秀賞 近藤謙市(新潟市)・第一位 小杉喜八郎(新潟市)・第二位 大竹与市(新潟市)・第三



市長賞「天女の名所」
(七幹立・石倉広茂さん)



位 小杉喜八郎、桜井美千代、関川勝(下鶴森) 【懸崖】優秀賞 近藤謙市・第一位 本間大次郎(新潟市) 【七幹立】優秀賞 石倉広茂(市長賞)・第一位 牛田豊作・第二位 近藤謙市 【盆栽】優秀賞 酒井正博(三等賞・新潟市)・第一位 松澤ヨシイ(長岡市)・第二位 松澤哲雄(長岡市)・第三位 松澤ヨシイ 【中菊】優秀賞 酒井栄策(二等賞・三条市)・第一位 斉藤稔(三条市)・第二位 大竹与市・第三位 吉井セツ子(五泉市) 【だるま・福助・切花】優秀賞 大竹与市・第一位 大竹与市・第二位 石倉広茂・第三位 桜井美千代 【木付け】優秀賞 清水修(上下条)・第一位 清水清松(幸町)・第二位 涌井秀一(上下条)・第三位 安中朝次(上町)

「税」に関する

作文・標語を表彰

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと、作文と標語を募集しました。

作文には、三百二十八点、標語には五百八十一点の応募があり、次の各賞が決まりました。

(敬称略)

■作文

【新潟県租税教育推進協議会長賞・佳作】

「税金によって作られる暮らし」
真保茜 (加茂農林高三)

【三条税務署長賞】

「災害と税金」桑原咲子 (加茂中三)、
「税の使い道」大原里奈 (加茂農林高三)、
「よりよい税について」石田圭吾 (加茂暁星高二)

【三南地区納税貯蓄組合連合会長賞】

「暮らしを支える税金」田邊匠 (葵中三)、
「消費税に支えられて」菅家大喜 (若宮中三)、
「税の大切さ」茂野玲 (七谷中二)、
「笑顔と知識を身につけてくれる税金」齊藤彩 (須田中二)

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

「税」栢森隆輔 (加茂中三)、
「私達の暮らしと税金」手塚朱映 (葵

中三)、
「税金について」笠原伊織 (七谷中二)、
「税のありがたさ」小池遥香 (若宮中三)、
「未来につながる税」石田優依 (須田中二)、
「税について」本間珠絵 (加茂暁星高二)、
「税金を知って」飯塚香 (加茂農林高三)

■標語

【三条税務署長賞】

「税金は多くの安心もたらす光」小柳雄毅 (加茂中三)、
「この税で増えるといいな皆の笑顔」織田はるか (葵中三)、
「これからの未来に役立て消費税」鶴巻孔理 (七谷中一)、
「消費税夢の暮らしの糧となれ」菅家大喜 (若宮中三)、
「税金で広がる人の輪絆の輪」渡邊汐里 (須田中二)

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

「たぐさんの税で育てる社会の花」浅野友紀 (加茂中三)、
「今よりもより良い暮らし税金で」坂田稚佳 (葵中一)、
「税の種蒔いてみんなの夢が咲く」有本眞実 (葵中二)、
「つくるんだみんなの税で夢のまち」木津文秀 (葵中三)、
「税金が豊かな暮らしへ変えてゆく」市川千品 (若宮中一)、
「税金は夢ある暮らしのサポーター」高山大 (若宮中二)、
「税金で助かる命がそこ

にある」笠原亜美 (若宮中三)、
「身近なものみんな税金が支えてる」櫻井美菜子 (七谷中一)、
「税のない地球の暮らしはジャングルだ」林愛美 (七谷中二)、
「納税は未来のとびらを開ける鍵」小柳昂輝 (七谷中三)、
「税金はみんなの毎日支える杖」齊藤麻衣 (須田中一)、
「納めようみんなの税金忘れずに」星野光希 (須田中二)、
「税金は豊かな社会の会費です」鈴木愛美 (須田中三)

加茂福祉会 平成第二三平成園 職員募集

平成21年4月採用の加茂福祉会職員を募集します。採用職種は左表のとおりです。
勤務施設 平成園、第二平成園、第三平成園の法人職員として、いづれかの施設に配属されます。
採用職種 左表のとおりです。
応募方法 市販の履歴書に職種と必要事項を記入し、自動車普通免許証の写しを添付してください。採用試験(作文・面接)の日程は、後日、応募者本人に連絡します。
提出先・問い合わせ 社会福祉法人加茂福祉会(第二平成園内) ☎41・4031

試験職種	採用予定人員	受験資格(平成21年3月までの取得見込みを含む)
看護師	3名程度	看護師または准看護師と自動車普通免許を有する人
准看護師	3名程度	准看護師または作業療法士と自動車普通免許を有する人
機能訓練指導員	1名程度	理学療法士または作業療法士と自動車普通免許を有する人

総体結果11月



駅伝競走

期日 十一月二日

会場 陸上競技場周辺周回コース

参加 26チーム

【3区間7・5kmコース】▼中学

生女子①葵中陸上部D (岡村瞳・田澤彩香・諸橋えみな) 32分14秒
 大会新②葵中陸上部A (有本眞実・羽生彩花・佐藤京香) 32分27秒
 大会新③加茂中学校S (志田朱穂・馬場朝子・弦巻千秋) 32分52秒
 大会新

【5区間12・5kmコース】▼小学

生男子①ジュニア陸上A (真木田晶・藤田寛人・目黒誉之・有本望・梅田聖史郎) 53分18秒・大会新②須田ルーキーズ (清水遊・知野雅太郎・高橋駿・高橋陽平) ③ドリムアゲイン (村山暉・渡辺寅貴・酒井涼・坂上秀人・田代知也) ▼
 小学生女子①ジュニア陸上A (小林夕華・井上早紀・鈴木萌・桑原未帆・小野麗奈) 1時間24秒・大会新②七谷ファイブ (梅田紗季・小野亜沙美・渡辺彩葉・鶴巻沙記・小柳郁恵) ▼中学生男子①若宮中

学校 (和田亮一・嶋倉正貴・波塚駿平・坪谷怜・久保累) 48分0秒

②葵中陸上部 (眞柄幸季・高橋隼登・阿部尚平・高橋慶徳・広川拓臣) ③加茂中学校 (田中悠斗・増井康平・泉田龍太郎・樋口拓也・有本壮馬) ▼一般・高校①F・R・Cヤング (金子久憲・坂田洋史・近藤貴広・田中泰之・馬場勤典) 46分34秒②アラリヤ (袴田敏尚・外山和利・鶴巻ジュディ・番場祐太・鶴巻大地郎) ③F・R・Cアダルト (目黒秀樹・眞柄恵一・小杉正幸・笠間圭介・藤田幸男)



バスケットボール

期日 十一月九日

会場 加茂中学校体育館、市民体育館

【中学生男子】

優勝 葵中学校3年
 準優勝 加茂中学校
 三位 葵中学校2年、加茂中学校2年

【高校一般男子】

優勝 紅桜
 準優勝 Loops
 三位 POSITIVE、idiot



体操競技

期日 十一月二十二・二十三日

会場 体操トレーニングセンター

※選手により、異なる区分で出場している場合があります。

※総合開会式では平成21年3月14日15日とご案内しましたが開催日が変わりました。

【個人総合】

▼小学男子 (タンプリング・円馬・とび箱・鉄棒・柔軟) ①佐藤脩平 (加茂体操クラブ) ②北見将一 (加茂南小) ③小島広雅 (加茂小) ▼

小学女子 (とび箱・単バー・平均台・タンプリング・柔軟) ①捧莉穂 (加茂体操クラブ) ②熊倉未来 (加茂小) ③三沢司沙 (七谷小)

▼中学以上男子 (ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒・柔軟) ①有本隆寛 (下条小) ②川口正太郎 (新大付属長岡中) ③金子健三 (加茂高) ▼中学以上女子 (跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか・柔軟) ①渡辺由貴那 (加茂小) ②佐藤祐羽 (加茂体操クラブ) ③高野栄美里 (葵中)

【特別種目・かべ倒立】▼男子①有本隆寛41分0秒②北見将一、伊

藤駿 (須田小) ▼女子①捧莉穂3分8秒②茂野天泉 (加茂小) ③桑原菜鳴子 (石川小)

【特別種目・倒立歩行】▼男子①高野雄貴104m40cm (葵中) ②川口正太郎③桑原達哉 (葵中) ▼女子①佐藤祐羽28m70cm ②渡辺由貴那 ③近藤千秋

会長賞 (最優秀選手) 有本隆寛 (下条小)
 捧莉穂 (加茂体操クラブ)
 三栗賞 (最優秀新人) 茂野天泉 (加茂小)

加茂山の遺跡

民俗資料館考古展示室から

市内外の多くの方々から身近な散策場所として親しまれている加茂山。その魅力については多言を要しないであろう。加茂山の各所には遙か昔の先人達の活動痕跡が遺跡として刻まれ、遺物の一部が民俗資料館に展示されていることを知る人はそんなに多くはないのではないか。展示資料から加茂山の遺跡について述べてみたい。

現在は駐車場で、以前は旧加茂市役所庁舎が存在した場所から、縄文時代中期前葉を中心とした土器や石器が出土している。遺跡は加茂市役所遺跡と命名され、土器は約五千年前の生活道具である。これまで

加茂の風土記

のところに加茂山を舞台とした最古の人々が遺した遺物である。土器は爪形の紋様が特徴的に見られ、北陸地方の新保・新崎土器様式に對比される。民俗資料館周辺地においても縄

文時代の石器が出土したとされ、遊覧場遺跡と命名されている。青海神社は青海郷の総鎮守で、青海神社境内を含んだ周辺地から様々な遺物が出土している。現在の市民体育館建設の際に出土したとされる土師器の皿や用途不明であるが棒状の土製品が注目される。皿は底部が突き出した形で、柱状高台皿と呼ばれる。十二世紀後半頃のものである。土製品も含め、何らかの祭事に使用されたものと見られる。ほぼ同時期には経塚が三基築造される。経塚は



加茂山の遺跡 展示品

仏教が衰退した末法の世に、経典を甕などに納め、地下に埋蔵したもので、その功德により極楽浄土などを願う。外容器の珠洲焼や経典を納めた銅筒、副えられた和鏡が出土している(青海神社所蔵)。同様の和鏡が宮山貴船神社遺跡付近から採集され、資料館に寄贈、展示されている。このように加茂山は古代から神聖な場所として崇められたことが知られる。

その後、中世の終わりごろ戦国時代に入り、加茂山要害城砦跡・剣ヶ峰城跡・城山城跡と比較的大きな山城が築かれる。戦乱の舞台となったことを堀切や曲輪などの遺構が物語る。加茂山要害城砦跡からは和鏡や珠洲焼が出土している。城歴は不明な点が多いが、上杉家の家臣早部甚甫守が築城したとされる。堀跡や郭跡などが明瞭で、戦時の様子を髣髴とさせる。まさに戦場のハイキングコースである。

縄文土器から和鏡まで、時代や種類も幅広く、先人達の加茂山での活動痕跡は多彩である。遺物、遺構から加茂山に育まれた歴史を学び、加茂山散策をより楽しむためにもぜひ、資料館に足を運んで欲しい。

(伊藤秀和)

おめでとう

体育指導委員功労者表彰
関 薫さん(八幡二)

関さんは長年にわたり地域スポーツの振興に貢献されています。この功績により社団法人全国体育指導委員連合から表彰されました。おめでとうございます。

おめでとう

社会福祉費寄付金

▼七谷中学校生徒会から 一万二千二百八十円

▼北陸ガス株式会社から 二万四千九百五十六円

ふるさと寄付金

▼笠原順一さん(東京都江東区)から 二十万円

人口のうごき

11月1日現在	
世帯	10,092 (+14)
人口	31,434 (-25)
男	15,191 (-19)
女	16,243 (-6)
()内は前月比	
(10月異動分)	
出生	14 (男7女7)
死亡	40 (男21女19)
転出	48
転入	49